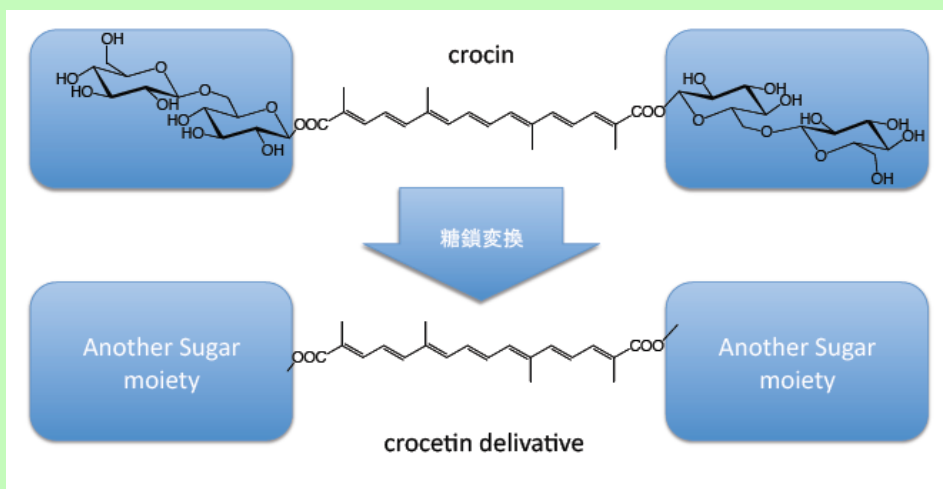


【分野】 創薬

【キーワード】 神経変性疾患、 crocin アナログ化合物

## 【研究シーズの概要】

生体内の神経細胞保護作用や抗酸化作用は、加齢や生活習慣、ストレス等が原因で低下して神経変性疾患を発症すると言われており、根本的治療法がないのが現状である。神経変性疾患の根本的治療につながる可能性や抗酸化作用で注目をあつめているクロシンのアナログについて、有機合成による糖鎖構造の変換技術を用い、ライブラリーの構築・構造最適化の研究を行って、新規神経変性疾患治療薬を開発する。



## 【特徴、効果、独創的な点】

神経変性疾患に対する新規治療薬の開発に繋がる可能性がある。  
当該研究室は糖鎖変換による有機合成に高い技術を保有し、最先端のクロシンアナログ化合物のライブラリー化を構築できる。

## 【利用、用途】

- 神経変性疾患の治療薬の開発。
- 酸化ストレスによって引き起こされるガン・糖尿病・心筋梗塞などの予防・治療への応用。

【知的財産等情報】 特許出願準備中